

**アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ  
(African Business Education Initiative  
for the Youth, ABEイニシアティブ)  
『修士課程およびインターンシッププログラム』**

2014年6月

独立行政法人国際協力機構 (JICA)

アフリカ部／人間開発部

# ABEイニシアティブの背景 アフリカの現状、教育事情

# アフリカの成長(名目GDP)

(US Billion Dollar)



# 活気溢れる街



写真：久野真一／JICA



際協力機構

# 高速道路や高層ビル



## アビジャン

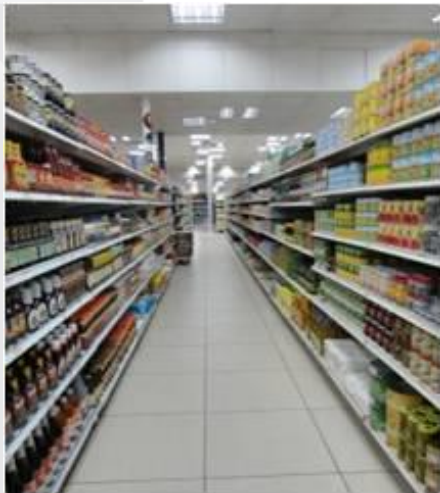
(人口430万人:コートジボワール)

## ダルエスサラーム

(人口360万人:タンザニア)



# 街にはスーパーも



キンシャサ  
(コンゴ民主共和国)

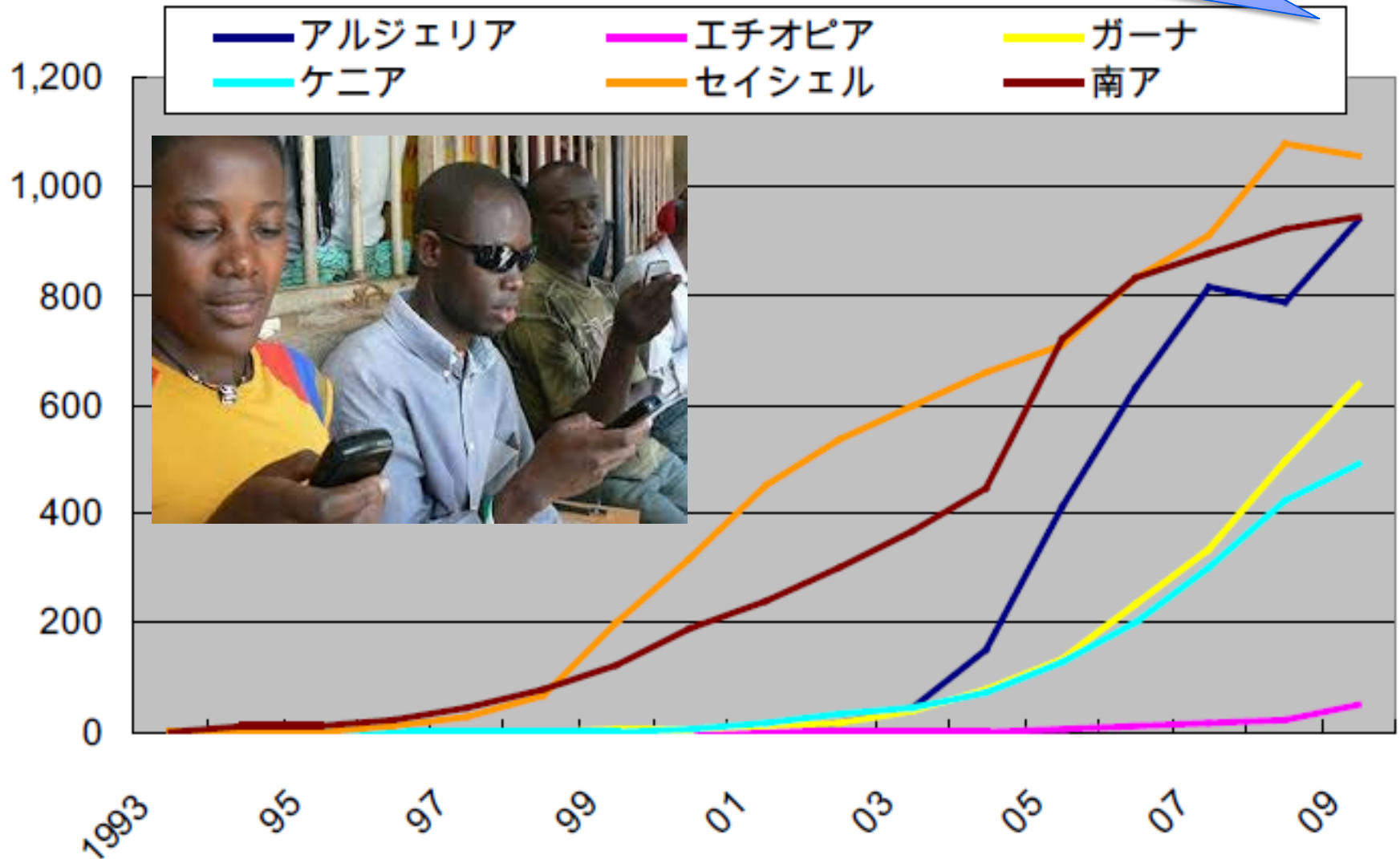


ダルエスサラーム  
(タンザニア)

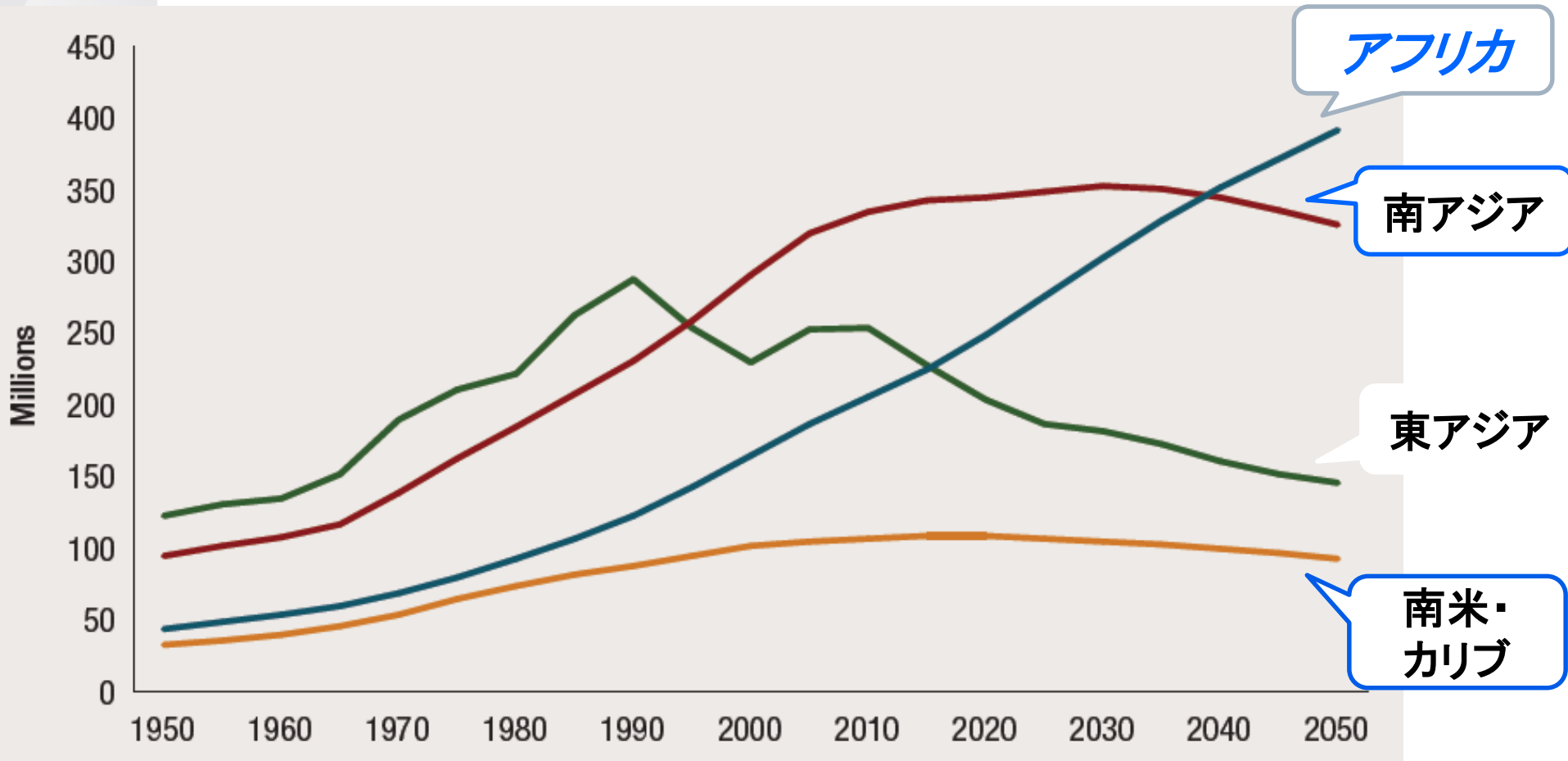


リロングウェ  
(マラウイ)

# 1000人あたりの携帯電話契約数



## 若年層人口(15~24歳)



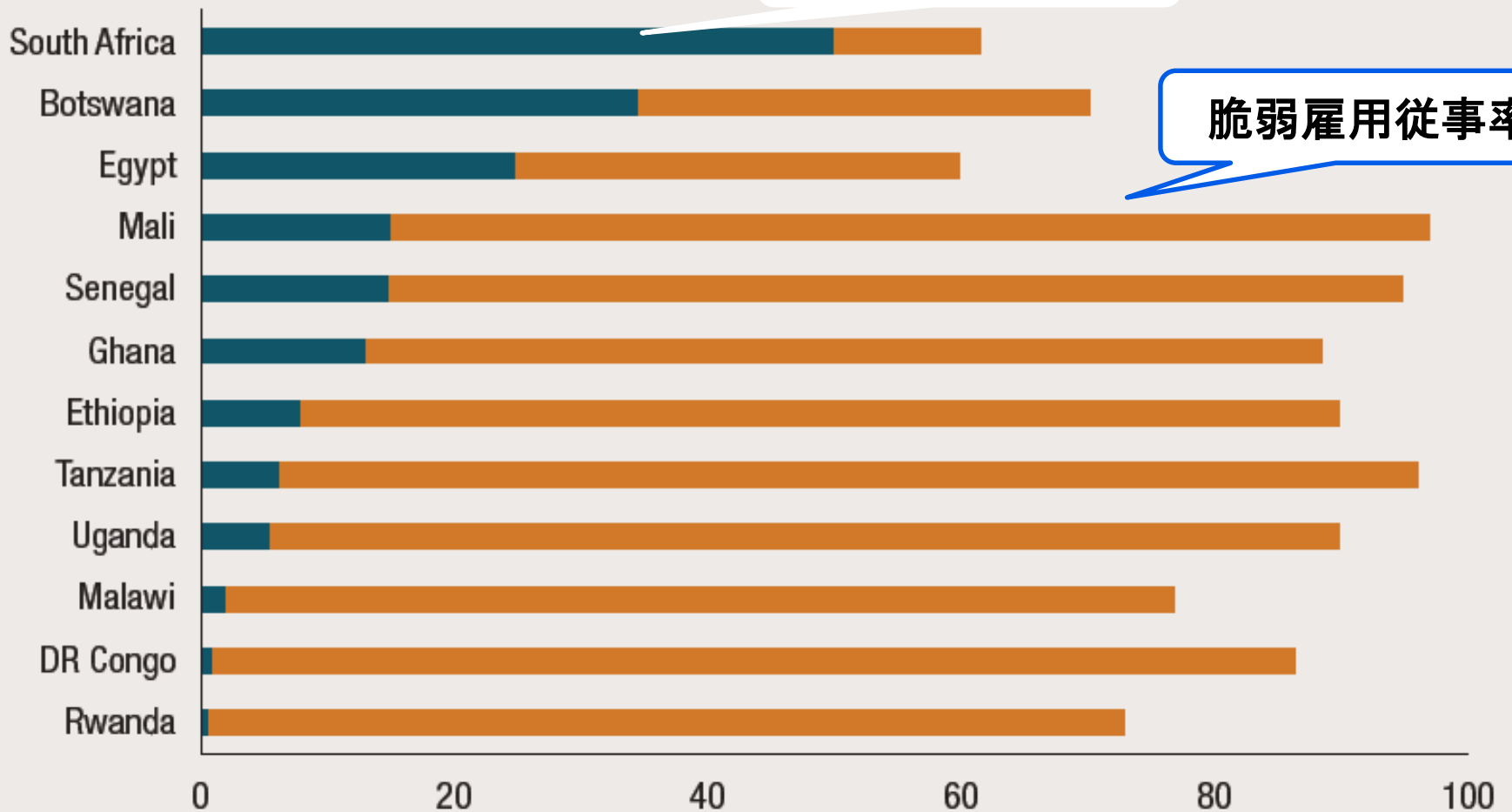


# 課題：若年層失業

## 若年層失業率と脆弱雇用

※15～24歳

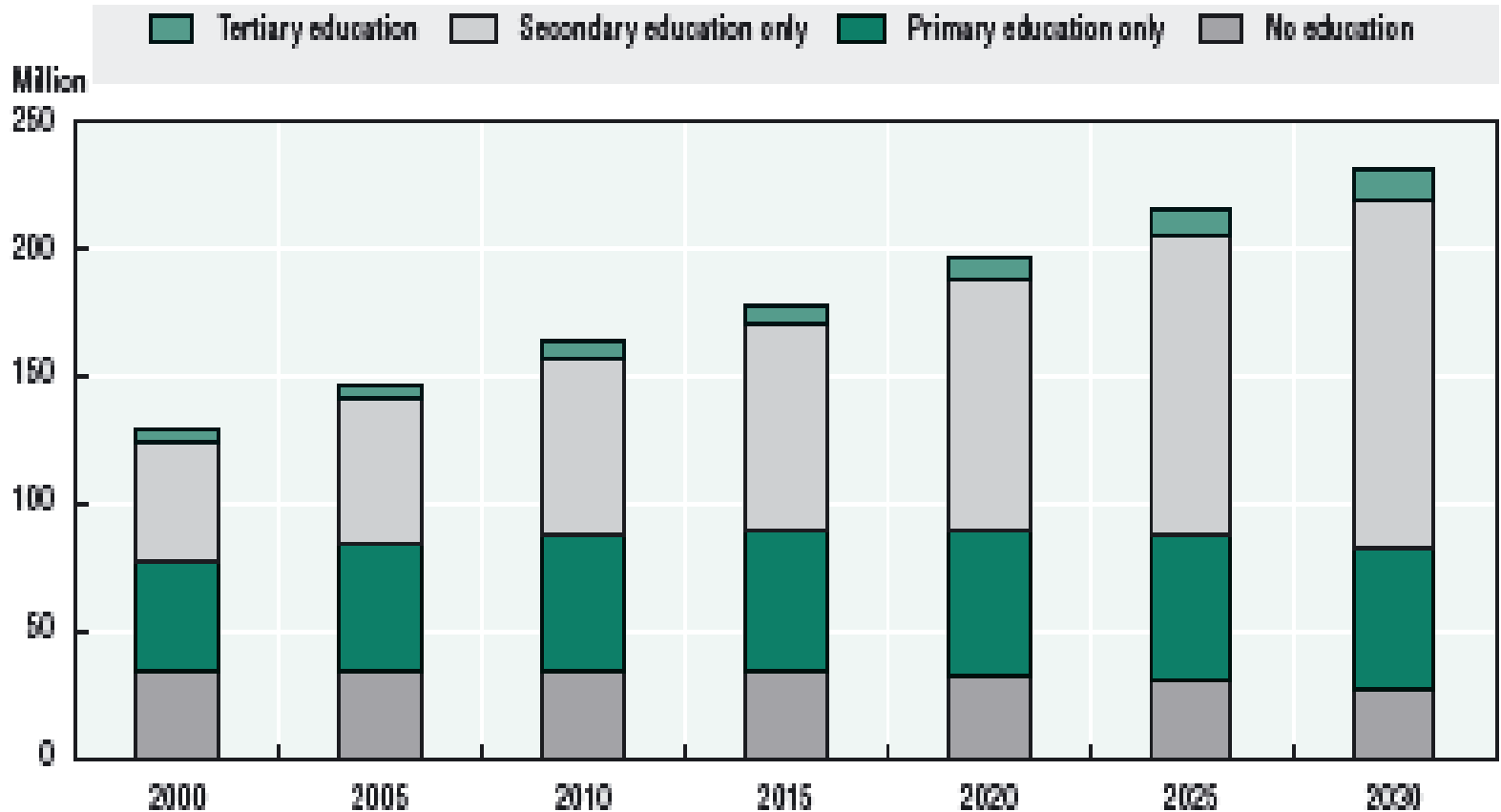
若年層失業率



脆弱雇用従事率

# アフリカの教育事情

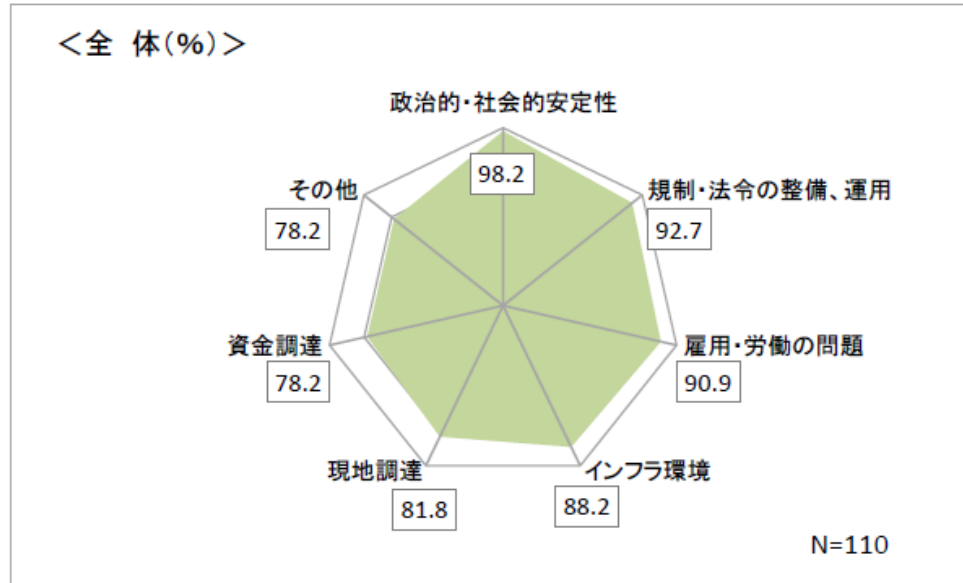
## アフリカ若年層の人口と教育レベル予測



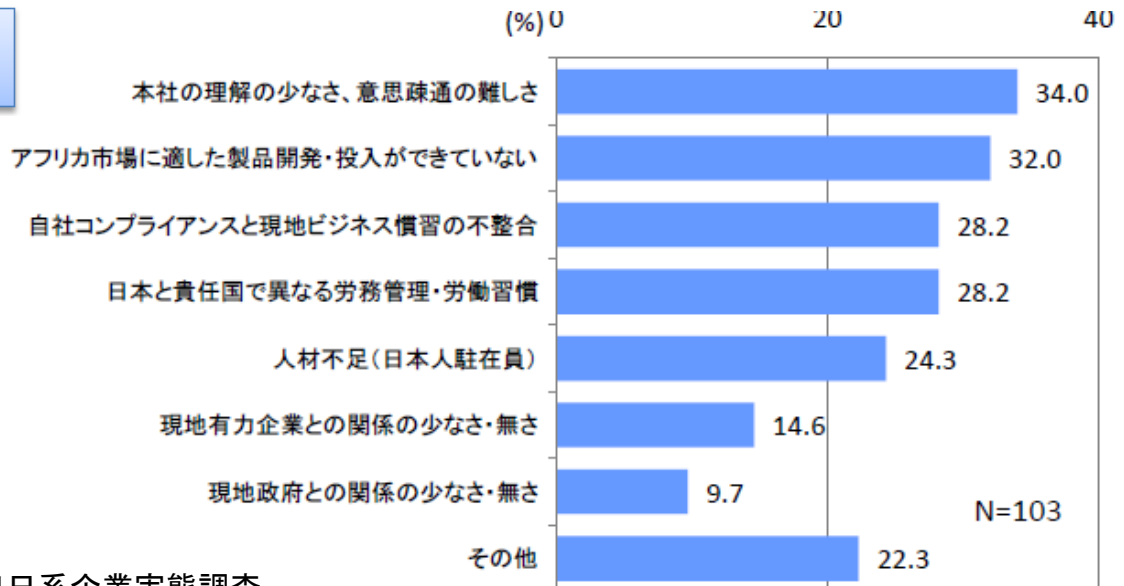
出典: AfDB Africa Economic Outlook

# 日本企業が抱える課題 (JETRO2013年調査)

## 経営における問題点



## アフリカでビジネスをする上での自社の課題



# 重層的な人材交流（アジアの経験）

## 【事例1】 日系企業の適切な人材確保への貢献 （日本留学経験者が中心に教鞭をとる「泰日工業大学」）

日本とタイの経済界により設立された「日本型ものづくり大学」（私立大学として認定）

大学理事長に東京大学工学部出身のスポン・チャユッサハキット氏、学長に京都大学工学部出身のクリサダー・ヴィサワティーラノン氏（同氏は学位取得後1年間日本企業での研修経験もあり）他、多数の日本留学経験者が教授陣を務める。

2013年1月時点で900人を超える第一期・第二期卒業生が巣立ち、日系企業をはじめとするタイ産業界で活躍

出典：同大学ウェブサイト



泰日工業大学学長  
クリサダー・ヴィサワティーラノン

## 【事例2】 日本の優れた技術への理解、信頼関係を通じた日本企業の ビジネス機会拡大（モンクット王工科大学（KMITL）への協力）

“タイの日本への留学生第1号”といわれているダナイ氏（現在、Prepack社長）

1958年帰国してタイ電話公社（TOT）に入社、88年に副総裁で職を辞したが、東海大学が協力するKMITLの入社組を支援して総裁のポスト確保に成功。これにより、日本への親近感から日本製の電話機などを大量購入することになった、と語っている。

出典：JICA 「アジア地域東南アジア人づくり戦略策定に向けた情報収集・確認調査最終報告書」（2010年2月）



ダナイ氏

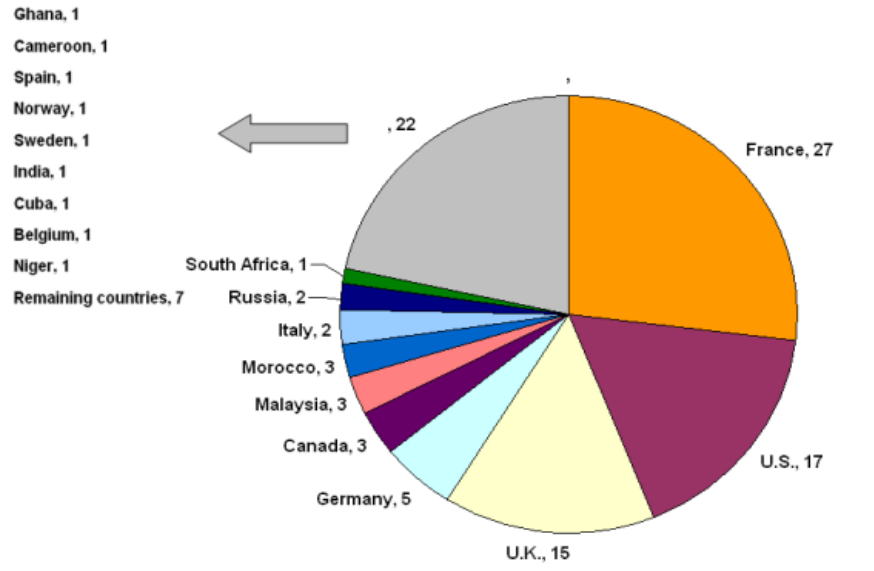
# アフリカの留学生をとりまく現状

留学生数・全大学生に占める割合(地域別)

Region	2010			
	Inbound		Outbound	
	The number of students who are from foreign countries	The % of students within all university students	The number of students who study abroad	The % of students who study abroad within all university students
<b>Africa</b>	<b>59,801</b>	<b>1.81</b>	<b>193,871</b>	<b>5.87</b>
Arab	61,983	0.95	177,372	2.72
Central and Eastern Europe	168,015	0.91	298,093	1.56
Central Asia	33,958	1.8	72,570	3.85
East Asia	379,919	0.98	700,999	1.8
Latin America, Caribe	36,536	0.25	145,639	1
North America, Western Europe	1,704,735	5.19	486,601	1.48
South Asia, West Asia	10,303	0.07	194,231	1.48
<b>Total</b>	<b>2,455,250</b>	<b>1.86</b>	<b>2,455,250</b>	<b>1.86</b>

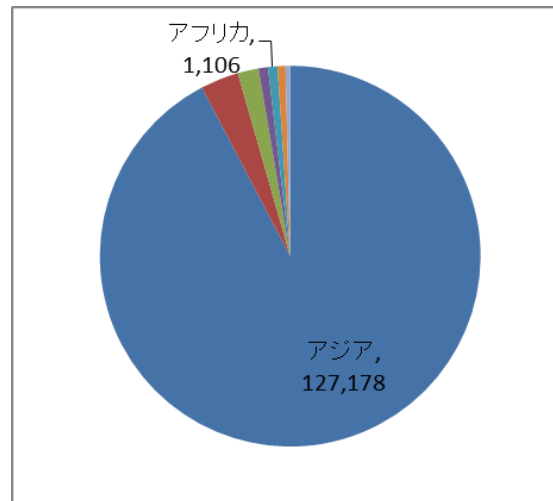
出典: Shibuya 2013

アフリカ大学生の留学先



出典: UNESCO UIS data 2011

来日外国人留学生の地域別割合



出典: 日本学生支援機構



# 基礎能力・実践力のある産業人材育成

教育セクターからの  
アプローチ

対象となる産業人材

民間セクター開発  
からのアプローチ

民間企業をはじめとする産業界  
との連携を強化した  
「出口のある教育」

高等教育  
科学技術

産業技術教育  
職業訓練

基礎教育での  
理数科教育も重要

大学教授・講師  
研究者

政府 行政官

エンジニア  
高度技術者  
経営者

中堅技術者

産業振興、産業の多様化、  
競争力の強化  
雇用機会の拡大  
(民間セクターの人材育成)

産業政策支援

制度構築・運用  
能力強化  
(法整備、投資環  
境改善・整備)

人材育成  
(カイゼン含む品質・  
生産性向上、  
企業競争力強化)

## 日本企業との連携推進（以下連携例）

大学・職業訓練校における冠講座  
日本企業でのインターンシップ受入

講師の相互派遣  
企業への情報提供 等

# アフリカの高等教育(例)

ナイジェリア・ラゴス大学



エジプト・E-JUST



セネガル・CESAG



# アフリカの技術教育・職業訓練(例)

セネガル・CFPT



ナイジェリア・ヤバ技術短大



ウガンダ

ナカワ職業訓練校



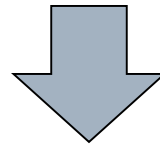
ルワンダ・TCT k-Lab





- TICADV官民連携協議会提言（2013年5月）
  - アフリカにおいて、職業教育、高等教育を通じ、雇用に直結する人材を生み出す「出口のある」教育の拡充を支援すべき
  - アフリカ各国が日本の優れた技術、ひいては我が国企業の重要性に対する認識を深めるため、日・アフリカ間の人的交流を促進し、特に我が国を訪れるアフリカ人を増加させるべき
- TICADV（2013年6月1～3日）
  - 安倍総理スピーチ
 

「アフリカから、日本へ学びに来る若者のため、大学や、大学院での教育に加え、日本企業で、インターンとして働く機会を、同時に提供するものです。規模は、5年で1000人です。」



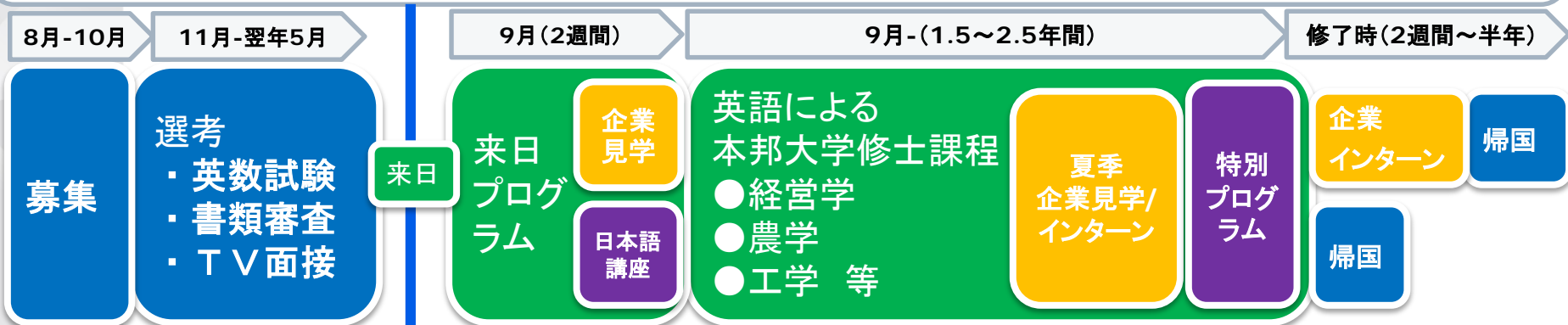
従来より実施されている実務者レベルの研修・プロジェクト等に加えて、日本企業がアフリカで経済活動を進める際の水先案内人となる人材の育成を行う。

# ABEイニシアティブ事業概要、進捗



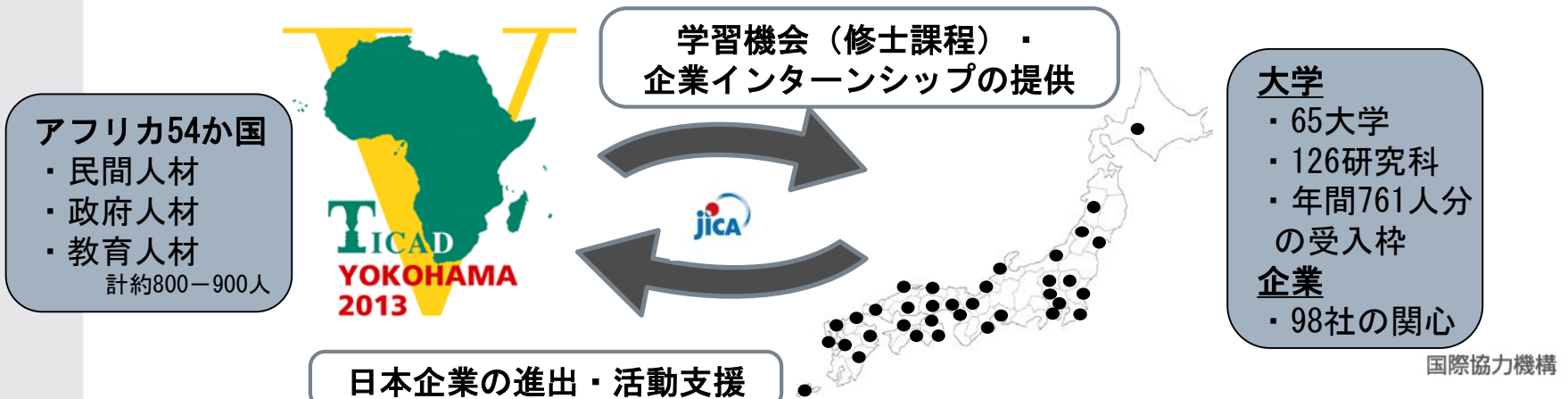
## 目的・内容

- アフリカ各国それぞれの開発優先セクターのうち、日本企業の活力が活かせる(進出が見込める)分野をターゲットに、本邦民間企業や大使館・JICA等、日本側から現地の有望な人材をリクルート・推薦し、日本に受け入れ。
- 日本社会や日本企業に理解を持ち、日本企業進出の水先案内人たるアフリカの高度産業人材の育成を目指す。



※口色は活動場所を表す。青: 現地、緑: 本邦、黄色: 日本企業

- 日本政府と産業界の共同プログラムとして、修士号取得と企業インターンを実施
- 長期留学により日本社会と文化に理解を持つアフリカの高度産業人材を育成
- アフリカ産業人材と日本企業との人脈形成
- 日本企業への就職も期待
- アフリカの産業人材育成機関の能力強化
- アフリカでの日本企業の活動支援へ



# 第1バッチの実施状況

## 対象国

南アフリカ、ケニア、タンザニア、モザンビーク、エチオピア、ルワンダ、スーダン、コートジボワール

## 受入れ人数

目標150名



**676名からの応募**

- 所属別人数

企業人材 ..... **171名** (25%)

政府人材 ..... **347名** (50%)

大学・職業訓練校人材 ... **140名** (20%)

その他 ..... **18名**

※日本企業推薦あり応募者数：**70名**

※推薦日本企業数：**23社**

- 対象国別人数

ケニア：331名、タンザニア：123名、エチオピア：69名、モザンビーク：53名、南アフリカ：50名、スーダン：23名、ルワンダ：21名、コートジボワール：6名

- 分野別人数 工学系：186名、経営・ビジネス：129名、農業：79名、ICT：66名 等)

## (1) 様々な参画方法

- 推薦(応募時) ※原則インターン受入れ必須
- 企業見学(来日時に半日～1日程度のグループの受け入れ)
- インターン(夏季、修士課程修了時)

## (2) 事前登録のお願い

- 来日研修員の情報提供
- セミナー・交流会へのご案内、ご関心のあるアフリカ人材とのコネクションを構築
- 企業見学・インターン受入れにより貴社への理解を深める

事前登録シート、企業見学エントリーシートはJICAホームページに掲載  
<http://www.jica.go.jp/regions/africa/internship.html>

## 第2バッチ実施スケジュール(予定)

対象国: 全アフリカ諸国

重点国: ケニア、タンザニア、モザンビーク、南ア、エチオピア、ナイジェリア、エジプト、モロッコ、セネガル、ガーナ 等

時期	予定スケジュール(案)
2014年8月～10月末	<b>ABEイニシアティブ研修員第2バッチ応募期間(推薦期間)</b>
11月～2015年2月	選考(1、2次)
2015年3～6月	選考(3、4次)、来日研修生決定
7月	①企業見学マッチング
9月	研修生来日、①企業見学実施(半日程度)
11月	来日研修員に関する情報提供
12月～2016年1月	②夏季インターンおよび③修了後インターンへのエントリー
2016年2～3月	マッチング
7～9月	②夏季インターン実施
2017年7月以降	③修了後インターン実施

※企業向けのご説明を都度実施予定

# ABEイニシアティブ関連情報へのアクセス

JICAホームページ <http://www.jica.go.jp>



・事前登録シート、企業見学エントリーシートはJICAホームページに掲載。  
<http://www.jica.go.jp/regions/africa/internship.html>

・ご意見・ご要望は人間開発部高等技術教育課までどうぞ。

[TEL: 03-5226-8337](tel:03-5226-8337)

[E-mail: hmtth@jica.go.jp](mailto:hmtth@jica.go.jp)





## お問い合わせ先

**独立行政法人国際協力機構 人間開発部 ABEイニシアティブ担当**

〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル

TEL:03-5226-8341

電子メールアドレス:hmtth@jica.go.jp